

Q&A

Q アメリカ経由メキシコ向け貨物の輸送 通関の流れとは？

A メキシコの Tijuana や Monterrey などの工業地帯へ出荷される貨物は、一旦アメリカの Long Beach 港等で揚げられ、アメリカ国内を通り、アメリカ・メキシコの国境を越えて輸送されるルートが多いです。このような貨物がアメリカを通過する際には、US 税関に対して保税輸送許可を取る必要があり、また国境越えの際には、アメリカでの保税許可終了手続きおよびメキシコ側での通関許可を取る必要があります。これら一連の手続きがスムーズに行われないと、港や国境で貨物が滞留し、保管料や waiting charge 等が発生してしまいますので、必要な手続きを事前確認しておく必要があります。特に国境を越える際のメキシコ側での通関業者（Consignee から指定される場合が多い）と情報を受け渡ししておくことが重要です。このように、通常のアメリカ向け貨物とは手配が異なり、貨物を滞留させないためのポイントが要所所所にあります。アメリカ経由メキシコ向け貨物についても、ぜひ弊社にご用命下さい。

駐在員：神谷

ジャパントラストかわら版
情熱羅針盤



ジャパトラマンのぼやき

「ぼやきコーナー」の筆おろしを抜擢された東京支店の石山です。何を書けばいいのか悩みましたが、社会人2年目の私が去年経験した“社会の洗礼”について書こうと思います。去年の9月から年末にかけて午前0時過ぎまで毎日仕事をしていました。仕事は大変でしたが楽しかったです。ところが、とあるOOG案件でとんでもないトラブルがあ（汗）私がメールでBooking済だったはずのフラットコンテナ8本が実は4本しか用意されていなかったんです！（焦）。頭の中は「なんで？やべーんじゃない？やばいよ！」、案の定やばいです。はい。お客様（機械メーカー社様）からの信頼はガタ落ち。それから数日後、そのお客様から1通のメールが届き、その内容は一言「ふざけるな」と。社会ではどんな言い訳も通用しない。求められるのは結果や数字のみ。痛い痛い社会の洗礼でした。それ以降パーフェクトな結果の為だけに仕事をしてきました。そして6ヶ月後、そのお客様から「今度私の奢りで飲みましょう」とお言葉を頂きました。。やべー、何もいえねー。一度失った信頼関係が再構築された瞬間。信頼関係は私にとって何よりも重要で有難いもの。僕は涙が止まりませんでした。さて、その後そのお客様とは一度も飲みに行きません。・・・あのお、いつ一緒に飲んでくれるのですか？半年も放置されているのでぼやいてしまいましたよ。

[用語]

- *OOG：Out Of Gaugeの略。通常のドライコンテナではおさまらない貨物を、フラットコンテナという特殊コンテナを使って運びます。ジャパントラストが得意とするところ。
- *フラットコンテナ：四方に柱がたっており、その周りには何も壁がないコンテナのこと。世界的に見てフラットコンテナの数は少ない。しかし、ジャパントラストはフラットコンテナを手配するスペシャリスト。
- *やべー、何もいえねー：御存知ない方は北京オリンピックの名シーンダイジェストをご覧ください。

東京支店：石山

2009年度採用予定内定者

はじめまして。2009年度入社予定の外間由紀子です。出身は沖縄です。9月に早稲田大学を卒業しました。現在は、アルバイトとして東京支店で働いています。最近、会社帰りの涼しい夜風が、秋の訪れを感じさせます。紅葉の時期が待ち遠しいです。思い起こせば、5年前に東京に上京したころ、亜熱帯気候の沖縄にはない、四季折々の花や木、食べ物、洋服などすべてが新鮮で、季節が変わるたびに今以上に胸を躍らせていました。来春からは、新しい環境で、社会人の仲間入りです。上京した頃のように、新鮮な発見や出会いを期待して、ジャパントラストの一員として頑張っていきたいと思っております。皆さん、よろしくお願いします。



東京支店：外間

前回のクイズの答えは下記の通りです。たくさんのご応募ありがとうございました。

